



頭の弱いメスの分際で
いつたい何を悩んで
いたんでしょっか…

すぐにでも
私の痴態を
参列者の皆様に――

粗末な疑念など
捨ててしまいなさい

先輩…!!?

どうして何も…いえ…
様子がおかしい…まさか…
精神支配されている…!!?

お前の身体と魂に
刻まれた快楽と
服従への喜び…

御主人様…ではない…
この男こそ異変の元凶…!!

メスとしての
本能に身を委ねて
己の役割を理解する…

理解したのなら…
後は誓いを立てるのみ

こんな異常な状況に
流されてはダメです!

カルデアで見守っている
ダヴィンチちゃんならきつと
解決策を考えているはず…

ギッ

救援が来るまで
持ちこたえないと…ッ

私の花嫁に相応しい
淫らな姿を参列者に
しっかし披露するのだ♡

—はい♡
御主人様♡♡

絶対服従するに
相応しいお方に見初めて
頂けた幸福と奇跡…

常にマンコを濡らして
発情した卑しいメスの
私にこのような誓いの場を
用意してくださる慈悲に
感謝いたします…♡

支配者たる
御主人様に恥じぬよう…

奴隷妻として
立派に隷属の誓いを
果たしてご覧に入れます♡

—え…口が…
勝手に…なにを…
言ってるんですか！

こんなの私の
本心では

ザザザ
ザザ

——わは
マント…誓った

これは…
先ほどと同じ…

あ…

まさかあの時を
繰り返している…？

——はい♡

んほ♡

私が御主人様を
愛し敬い…

おおお♡♡♡

奴隷妻として
絶対服従を誓う…
祝いの日…♡

ちゃん♡

それから何度も…

何度も…私は
奴隷妻としての
誓いを捧げ…

この幸せな体験を
繰り返し…

その記憶は
私の魂と…子宮に
刻まれて…ああ…♡

奴隷妻の私と…
先輩のサーヴァント
である私…

いつたい
どちらが本当の
マシユ・キリエライト
なんでしょうか…？

オマンコを
締め付けるしか能の無い
私にはよくわかりません…♡

こうして先輩と
一緒にバージンロードを
歩くのも何度目でしょう…

一歩一歩足を
進めるごとに先輩の
サーヴァントから…

御主人様のマゾ牝
奴隷妻へと生まれ
変わっていくのが
わかります…♡

今ではもう…

それに逆らうどころか
私自身が変わることを
望んでしまっている…♡

先輩…♡
しっかりと見守って
くださいね…？

雑魚オスでも…
そのくらいは
できますよね♡

もう少し耐えれば…
この幸福を繰り返せば
カルデアからの救援が…

ダヴィンチちゃんが
来るまで…ちゃんと
奴隷妻としての役割を
果たしますから…♡

結婚おめでとう
マシユ♡♡

—え

ダヴィンチ…ちゃん？

御主人様のオチンポを
何時いかなる時も
オマンコで慈しむ…

あは♡

何を不思議そうな
顔をしているんだい？

それが
私たち奴隷妻の
お役目じゃないか♡

し…しかし
カルデアにいた
はずでは…？

もちろんカルデアから
君たちの姿を見守って
いたとも♡

みんながボテ腹姿の
奴隷妻として身請けられて
メスの幸福に染まっていく…

そんな姿を見て
私は羨ましくて
仕方が無かった…

映像越しでもあふれる
旦那様への愛情と忠誠心に
マシユが疼いてオナニーが
止まらなかつたよ♡

だからこそ聖杯も何もかも…
全てを捧げるためにここへやって来て
御主人様の前で土下座して
奴隷妻にしてくれって懇願したんだ♡

これはもう私が
女の身体を選んだ時点で
決められていた運命なんだよ…

天才レオナルド・ダヴィンチは
マシユの幸せだけは知らない
無能の雑魚メスだからね♡

それよりも…マシユ
メス同士の戯れで
御主人様を
待たせるのは良くない

私のボテ腹ロリマンコで
御主人様のオチンポは
十分に暖まっている♡

次はマシユ…
君の番だ♡♡

私たちと同じ奴隷妻♡♡

なあんだ…
ダヴィンチちゃんも…
一緒だったんですね…♡

—はい♡
オーダー受領しました！

奴隷妻としての誓約
必ずや成し遂げてみせます♡

110
アア

——今日は
私たちの結婚式に
ご列席くださり
ありがとうございます

病める時も
健やかなる時も女は
奴隷妻として仕え…

男は支配者として
奴隷妻を支配し
生涯お互いに支え
合うことを誓います♥

ご列席の
皆様を証人とし…

ここに結婚の
誓いを交わしますう♥

は

は

1/10

ニ

1/10

ニ

1/10

ニ

1/10

ニ

1/10

ニ

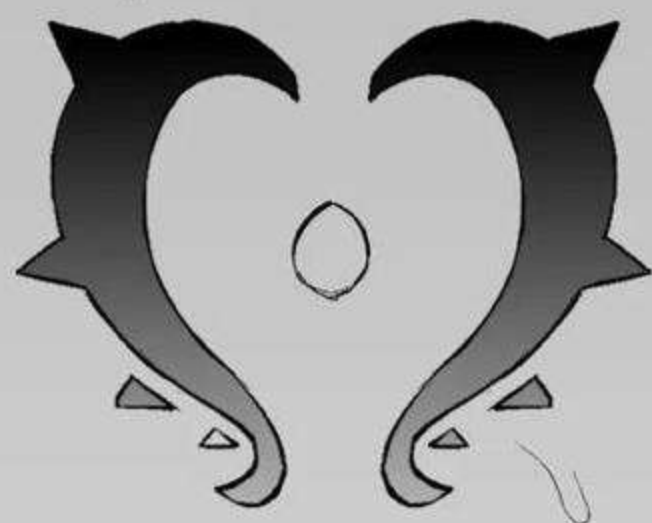
1/10

ニ

カッ

プッ

ああ……
私たちを支配する
愛しい御主人様……♡



私たち奴隷妻は
貴方の命ずるままに
従います……♡

それこそが私たち女にとって
最高の幸せであり——

——運命なのです♡♡♡













